

入域観光客統計概況

－平成16年8月分－

沖縄県観光リゾート局

8月の入域観光客数は523,400人。前年同月比は△1.5% (△8,200人)で、同月の過去2番目の記録となった。

1月～8月までの入域観光客数は3,465,500人。前年同期比は+4.5%(+148,700人)となった。

1. 空海路別入域状況

空路：513,100人 前年同月比 (△1,900人 △0.4%)
海路：10,300人 前年同月比 (△6,300人 △38.0%)

2. 主要航路別入域状況

東京：239,600人 前年同月比 (+5,300人 +2.3%) 構成比45.8%
阪神：106,600人 前年同月比 (△2,200人 △2.0%) 構成比20.4%
福岡：63,700人 前年同月比 (+200人 +0.3%) 構成比12.2%
名古屋：43,600人 前年同月比 (△2,400人 △5.2%) 構成比8.3%

3. 概況と見通し

8月の入域観光客数の概況としては、国内客については、初旬の航空乗客輸送実績が前年同月比+3.4%と好調に推移したものの、中旬以降4回襲来した台風の影響により離島への入域客が減少したことなどにより、空路については対前年同月比0.5%、海路については21.9%減少し、国内客全体としては前年実績を若干下回ることとなった。

外国客については、空路における入域者数は微増であったものの、台風の影響による定期クルーズ船の欠航などにより、外国客全体としては前年同月と比較して28.7%減少した。

以上のことから、国内客、外国客ともに減少し、全体としては昨年同月の実績を若干下回ることとなった。

今後の見通しとしては、9月上旬に襲来した台風の影響が懸念されるが、10月以降については、修学旅行の予約状況が好調であることや、メディアへの露出効果、離島人気の継続などにより増加することが見込まれる。

外国客については、空路については臨時便の運航などにより昨年より増加することが予想されるが、海路については、定期クルーズ船の運航予定回数が昨年の寄港回数より少ないことなどから前年実績を下回ることが見込まれる。

この結果、国内客については増加、外国客については微減が予想され、入域観光客全体としては増加することが見込まれる。

担当：観光企画課 上原
TEL 098-866-2763
FAX 098-866-2767

(財) 沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント (要旨)

1. 国内

東京事務所 (関東地区)

○キャリアやエージェントによる沖縄旅行商品の積極的な販促活動の展開及び航空座席数の増加が旅行需要を喚起し、入域観光客数の増加につながった。

大阪事務所 (阪神地区)

○台風による欠航や台風接近による旅行控え、過剰予約に対する慎重な対応、浜名湖花博や、大河ドラマ効果による京都ブーム等他地域との競合などが要因となり入域減となった。

福岡事務所 (九州・山口地区)

○8月の九州・福岡の観光市場の動向としては、国内団体旅行は減少傾向にあるものの、景気の回復や海外旅行の大幅な回復などの要因から市場全体としては好調であった。

○沖縄への送客については、平成16年度国民体育大会九州ブロック秋期大会の開催や旅行代理店による積極的な販促活動などの要因により前年並みの実績を確保している。

名古屋事務所 (沖縄県) (名古屋地区)

○航空機の提供座席数減少の影響により、入域者数は昨年より減少しているものの、座席数に比べ入域者数の減少率が低いことなどを勘案すると、今年の夏休みも沖縄人気が続いていたと考えられ、特に家族向けの旅行商品は好調であった。

○9月以降も全国的な沖縄人気が続くと考えられ、NHKテレビ番組「ちゅらさん3」放映の効果も期待できることなどから、入域観光客数は増加すると考えられる。

北海道観光・物産情報センター (北海道地区)

○8月の状況としては前年同月並みというところであるが、道内の旅行需要が全体的に低下していることを考えると、沖縄方面は善戦したとの見方がされている。

○9月から再開された直行便の状況としては、価格が安くなる中旬以降は好調に推移している。

2. 海外

台北事務所 (台湾地区)

○台風の襲来により航空便と定期クルーズ船の運航に影響が出たことが入域客減少の大きな要因となった。

○SARSが沈静化した昨年同時期と比較して消費者の動きが鈍化していることや、旧暦の7月は旅行を控える習慣があるなど旅行需要の冷え込みも影響していると考えられる。

韓国事務所 (韓国地区)

○沖縄への送客は、パッケージツアーやハネムーンなど合わせて18件143人となっており、家族連れなど小規模のグループ旅行については着実に定着している(ソウル所在主要旅行社30社の実績による)。

○10月下旬～11月初めにかけて、韓国の大手企業が140人ほどのインセンティブツアーを企画している。